

竜の口溪谷における 多自然川づくり(魚道整備等)の取組み

Keywords : 低コスト切欠き魚道, 人的ネットワーク

【低コスト切欠き魚道の開発】

Before 魚道整備前

床止めによる落差2.4m
(魚介類遡上不可)

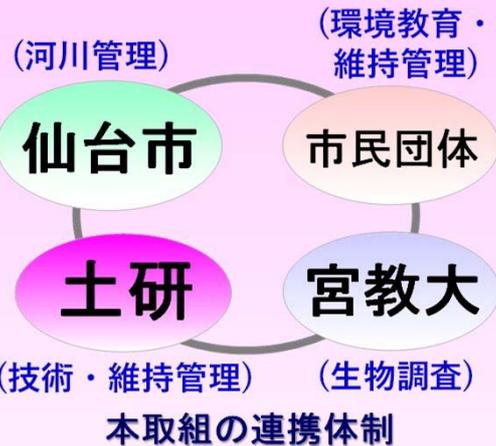


After 魚道整備後



低コスト型切欠き魚道を開発・整備
⇒ 床止上流で新魚種の定着を確認!

【人的ネットワーク作り】



◎魚道整備をテコに、市民向けWS/工事見学会/意見交換会/勉強会等を開催
⇒「人的ネットワーク」を広げ、新たな切欠き魚道整備に着手

Adaptive Management 整備2年後



モニタリングで把握した課題は順応的管理(補修)で対応!

課題 : 竜の口溪谷と広瀬川の間で床止めにより水域連続性が未確立
解決策 : 魚類遡上環境の創出を目的に、低コスト型切欠き魚道を整備
成果 : 床止め上流で新魚種(ヨシホリ類)の定着・生息を確認
ポイント : ①小規模自治体でも設置可能な低コスト切欠き魚道の開発、
②魚道整備をテコに、市民向けWS/工事見学会/意見交換会/勉強会等を開催 ⇒ 「人的ネットワーク」を広げ、新たな切欠き魚道整備に着手